小林市立 三松中学校

題字は3年・戸髙（とだか） 愛（あい）

みんなの学校〈196〉

NIE 教育に新聞を NEWSPAPER IN EDUCATION ＝郷土紙宮日とともに＝

新学習指導要領導入で、小中学校では教材として新聞を活用した授業が行われています

命を守るタスキ着用

三松中学校は、小林市の端という歴史のある町にあります。今年で創立72年目を迎えた伝統のある学校です。

校訓は学ぶ「自ら学ぶ生徒」、「鍛える」「進んで心身を鍛える生徒」、「誇る」「誇りと思いやりの心を持つ生徒」の三つです。さらに「品事徹底」を目標に掲げ、立ち止まってあいさつをします。他に学校や地域で、と特に、徹底していることは三つあります。

校風・目標

「立ち止まってあいさつをすること」です。本校で、地域の方々とのコミュニケーションが取れ、地域を明るくすることができます。

全校生徒が、当たり前のことを当たり前にすることで、より良い学校づくりをし、これからも伝統を守っていきたいと思います。

二つ目は「2分前着席、1分前に学級委員長が呼び掛けます。（3年・岩切歌弯、木上咲花）

三つ目は「命を守るためのタスキ着用」です。本校は登下校時にタスキを着用する習慣があります。タスキを着用することで、事故防止ができ、自分の命は守ることにもつながります。

学力アップを目指しています。

事故防止を目的にタスキを着用して登校する生徒

トピックス　いじめ追放 努力続く

私たちは、全校生徒が明るく学校生活を送られるように生徒会役員を中心にいじめ対策を行っています。三松中学校では幸にも悲しい、いじめがありました。二度と起こらないように作られたのがいじめ追放宣言です。いじめ対策として、いじめ追放宣言を思いやり宣言に沿って活動しています。

いじめ追放宣言では「いじめをしない」「いじめを見逃さない」「いじめを見過ごさない」の三つを基本六つの言葉を全てで、いじめが起こらないよう最大限の努力を払っています。

思いやり宣言は「おいやり」のそれぞれの文字で五つの言葉を立て、いじめについてながら、ないように全校生徒が相手を思いやる心を養成しています。思いやり宣言は2013年に作られ現在まで受け継がれています。

また、これまで月1回程度「言葉の日」として言葉について考え、思いやりのある言葉を使う日を設定したり、いじめアンケートで状況を把握したり、東京で開催された「いじめのサミット」に校事務委員が参加したりするなど積極的に取り組んできました。

これからも継続し、いじめのない、笑顔の絶えない学校にしていきたいと思います。そのために普段の判断をしっかり行い、よく考えて行動し、いじめについての意識を高めていきます。（3年・野口栞々美、永山真愛）

総会で学校の諸問題を考える生徒

小中連携で食育実践

二松中学校は、1947（昭和22）年5月8日に開校した歴史ある学校です＝写真。54（同29）年3月には校歌と校旗が制定されました。

58年11月には、陸上部が市中体連で本校初の優勝を飾りました。それから陸上部では、男子ハンドボール部が数々の好成績を残しています。

2012年には「のびのび食育実践事業校」に三松小学校との連携で指定されました。翌年に小林市ICT整備事業で、電子黒板や生徒用パソコン、職員室プリンターなどが導入されました。電子黒板の導入により、今までの授業がさらに分かりやすくなりました。

また、おやじ学級は学校を陰から支えてくださり、今ではかかせない存在となっています。これまでの素晴らしい成績を残してきた先輩方に続いて自分たちも部活動などに日々努力していきます。（2年・髙品みさき、鍛名陽夫）

あゆみ

外部指導者から意欲的に活動する生徒

地域の人々指導者に

二松地区の大きなイベントに参加し、毎年7月に三松小学校で開催される「ナイトイン三松」というお祭りです。小学生中心となりゲームをしたり、ダンスなどを披露したりします。また、保護者を中心に出店販売があり、地域の方々も参加し楽しむことで、多くの人々とふれあいます。

祭りの魅力は地区ごとに、地元の方ですべて企画されることです。地区の伝統的な事柄を大切にしていきたいと思います。（2年・日高颯太、津矢木香輔）

地元のことを知ることで、郷土に愛着を持ってもらえるように指導者として来てもらっています。地域の方々と交流することで、多くの人々とふれあうことができます。

また、小学校ではキャリア教育に力を入れています。私たちの将来を見据えて、地域の方々に協力して授業を行っています。地域の方々と交流することで、地域の方々とのつながりが、地域の活性化につながるのではないかと思います。

私たちが大きくなっても、地元を忘れないように、三松の良さが全国に広がるように頑張っていきます。（3年・日高颯太、津矢木香輔）

きずな

歴史感じさせる烏居

二松中学校から東へ約1分、木々の生い茂る森の中に一つの神を歴史を感じさせる鳥居があります。

若戸神社には、約1300年前から始まった若戸神楽があります。若戸神楽は「若戸開」、剣の舞、雨乞の舞の3つの舞があり、1月と7月の年2回行われます。

夏に行われる夏祭では、三松保育園児が舞い、秋の文化発表会では本校の2年生が踊りを披露し、心を一つにして舞います。若戸神社は、私たちを含めて二松地区の人々とつながりの深い神社です。（3年・久村一誉、高牟礼晴吾）

三松地区の人々に関わりの深い若戸神社

名所

校歌

作詞　長友　定行
作曲　海老原　直

一、高い理想を定に掲げて
山脈の裏なるどこか
聖なる学園そびゆ
これぞ我等が母校三松中
高き校の高き理想
友よかがげむ

二、人々よなおに親く
いそしみて伝統の山
なつかしき学園そびゆ
これぞ我等が母校三松中
ふるさとの誇る誉れ
友よ伝えむ

QRコードを読みとるとHP校歌特集コーナーへ

所在地　〒886-0003 小林市堤2331番地3
校長　太平祝長
生徒数　221人
HP　https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4407/htdocs/

《次回は8月21日掲載予定です》